

科目	動物臨床看護学各論 I		
担当講師 石井実生 実務経験有 獣医師免許 大学卒業後動物病院に勤務 20年間獣医療に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前期後期	講義	必修	30
授業目標 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する			
授業概要 消化器、呼吸器系、循環器、生殖器、造血器、免疫介在性疾患等についてその機序評価治療等について学ぶ			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教材 動物看護の実践第6巻 (P227-265) (ファームプレス)、動物看護実習テキスト (インターズー)			
授業計画 毎週火曜日 1限目 9:10～10:40 (A班、B班)			
1	消化器系疾患	消化器疾患の発生病所と病態	
2	〃	〃	
3	消化器系疾患	消化器疾患の療法概	
4	〃	〃	
5	呼吸器系疾患	主な疾患と症状	
6	〃	〃	
7	呼吸器系疾患	検査法と看護のポイント	
8	〃	〃	
9	循環器系疾患	主な疾患名と症状	
10	〃	〃	
11	循環器系疾患	検査法と看護のポイント	
12	〃	〃	
13	まとめ		
14	〃	〃	
15	泌尿器系疾患	全身状態と排尿異常	
16	〃	〃	
17	泌尿器系疾患	疾患名および検査について	
18	〃	〃	
19	繁殖・生殖器・新生子の疾患	繁殖(雌の発情、妊娠、分娩)と疾患について	

20	〃	〃
21	繁殖・生殖器・新生子の疾患	繁殖（雌の発情、妊娠、分娩）と疾患について
22	〃	〃
23	造血器。免疫介在性疾患	免疫介在性溶血性貧血（IMHA）腎性貧血等
24	〃	〃
25	救急疾患	基本的知識を学び、看護に展開させる
26	〃	〃
27	まとめ	
28	〃	〃